

Timecode Box TC-1

Wireless Timecode Expanded

製品マニュアル

日本語

はじめに

このたびは、Deity Timecode Box TC-1 をお買い上げいただきありがとうございます。

取扱説明

- 本製品の製品マニュアルをよくお読みください。
- この製品マニュアルは保管してください。製品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの製品マニュアルを添付してください。
- この製品マニュアルに記載されているすべての警告を聞き、すべての指示に従います。



警告：本製品を腐食性のある化学物質の近くに置かないでください。腐食により、製品が故障する恐れがあります。

- 本製品のお手入れには、マイクロファイバーまたは乾いた布のみを使用してください。
- 慎重に操作してください。落としたり、ぶつけたりすると、破損の原因になります。
- あらゆる液体を製品に近づけないでください。液体が製品に入ると、電子機器がショートしたり、機械が破損したりすることがあります。
- 乾燥した清潔でほこりのない環境で保管してください。
- 製品に不具合が生じた場合は、正規販売店に修理を依頼してください。不正に分解されたデバイスの修理は保証の対象外ですが、有償で修理を依頼することはできます。
この製品は、RoHS、CE、FCC、KC、および日本の総務省によって認証されています。
- 運用基準を厳守してください。製品の誤用に起因する修理は保証対象外ですが、有償で修理を依頼することはできません。
- このマニュアルに記載されている手順と情報は、完全に管理された企業のテスト手順に基づいています。設計および仕様が変更される場合、それ以降の通知は行われません。

FCC 準拠に関する記述

このデバイスは、FCC規則のPart 15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従います。このデバイスは、有害な干渉を引き起こす可能性がないこと、および (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる必要があります。

Warning (警告)：警告: コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

NOTE (注意)：本装置は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に適合することが試験により確認されました。これらの制限は、住宅での設置において、有害な干渉から合理的に保護するように設計されています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置、使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、それは装置のoffとonによって決定することができ、ユーザーは、以下の手順の1つまたは複数によって干渉を修正することを試みることを推奨されます。

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変えてください。
- 機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されている電源とは別の電源に機器を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者にご相談ください。

RF（周波数）警告文

このデバイスは、一般的な RF 曝露要件を満たすように評価されています。このデバイスは、携帯型の露出条件で制限なく使用できます。

使用目的

Deity Timecode Box TC-1の使用目的は以下の通りです。

- 使用者は、この製品マニュアルの説明を読んでいることとなります。
- 使用者は、この製品マニュアルに記載されている動作条件および制限内で製品を使用します。
- 「不適切な使用」とは、この説明書に記載されている以外の方法で製品を使用すること、またはこの説明書に記載されている条件と異なる使用条件の下で製品を使用することを意味します。

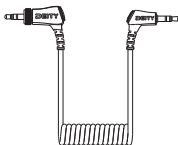
パッキング リスト

パッケージには以下のアイテムが含まれます。

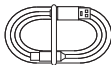
1. Timecode Box TC-1



TC-1
(1)



ロック式 TRS-TRSコイル
オーディオ ケーブル
(1)



USB-C 充電ケーブル
(1)



USB-C to USB-A
ファームウェア
アップデート アダプター
(1)

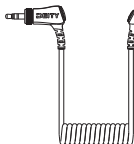


メス型フック・N・ループ
(2)

2. Timecode Box TC-1 キット

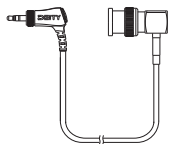


TC-1
(3)



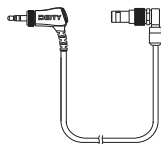
ロック式 TRS - TRS コイル
オーディオ ケーブル

(1)



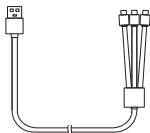
ロック式 TRS - BNC
タイムコード ケーブル

(1)



ロック式 TRS-5P
タイムコード ケーブル

(1)



USB-A - 3x USB-C
充電ケーブル

(1)



USB-C to USB-A
ファームウェア
アップデート アダプター

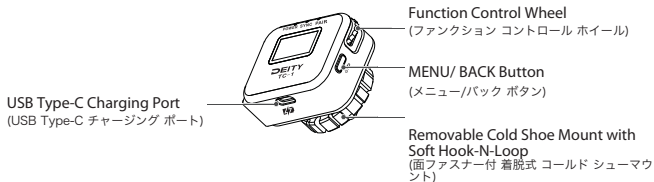
(1)

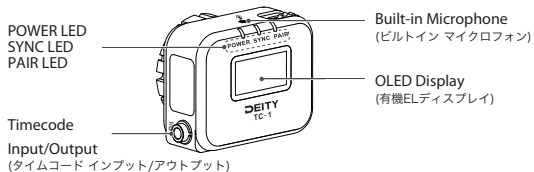


メス型フック・N・ループ

(6)

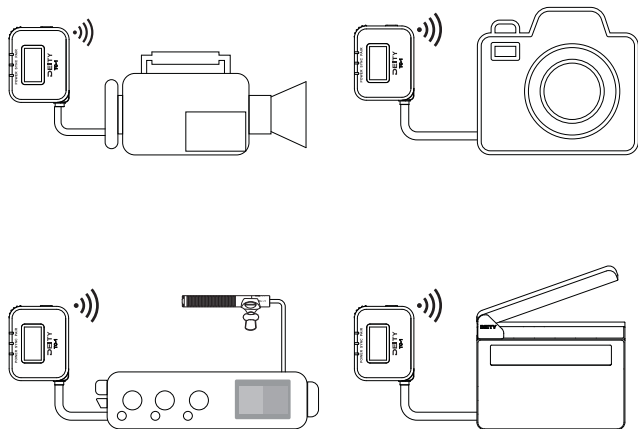
各部名称





レコーディング デバイスとの接続

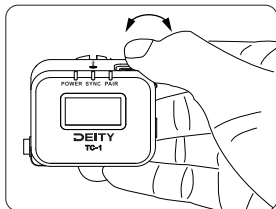
Timecode BoxTC-1は、カメラ、オーディオレコーダー、タブレット など、ほぼすべてのレコーディングデバイスで使用することができます。同期したTC-1をプローブアダプター（箱に同梱）を使用し各デバイスに接続する前に、正しい出力ボリュームを設定してください。録音機器の入力に応じて、LINEレベルまたはMICレベルに設定します。また、タイムコードの互換性を確認し、スムーズな撮影を行うために、テスト撮影をお勧めします。



機能と操作

1. Function Control Wheel (ファンクション コントロール ホイール)

ホイールを前後に回転させて様々なオプションを選択し、ファンクションコントロールホイールを短く押すと、選択した強調表示された項目に入ることができます。



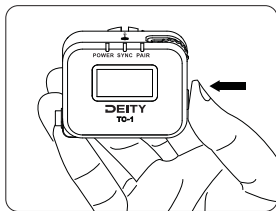
2. MENU/BACK button (メニュー/バック ボタン)

MENU/BACKボタンを長押しすると、TC-1の電源が入ります。

もう一度長押しすると、ポップアップウィンドウが表示され、TC-1の電源を入れるかどうかを選択することができます。

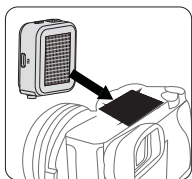
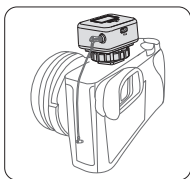
また、各種メニューや設定画面を操作する際に、前の画面やメニュー項目に戻るための「戻る」ボタンとしても機能します。

MENU/BACKボタンを3回短押しすると、画面のロック/ロック解除ができます。



3. Removable Cold Shoe Mount with Soft Hook-N-Loop (面ファスナー付 着脱式 コールド シューマウント)

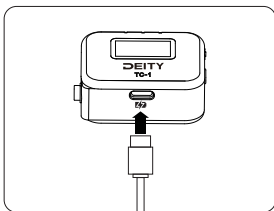
TC-1 は、付属のコールド シュー マウントを使用してカメラまたは同様のデバイスに取り付けたり、バックリング フック アンド ループを直接使用してバッグまたはその他のオーディオ デバイスに取り付けることができます。



4. Charging (充電)

TC-1には、充電可能なリチウムポリマー電池が内蔵されています。バッテリーは、付属のType-C充電ケーブルをDCアダプター(付属していません)に接続して充電します。バッテリーが正常な状態の場合、電源LEDは緑色に点灯します。残り約30分で色が赤色に変わります。

- * 充電中は、電源LEDが赤と緑の間で点滅します。
- * 満充電になると、電源LEDは緑色になります。
- * 10度以下の温度で充電すると、バッテリーの破損の原因になります。フル充電には3時間かかり、最大24時間使用できます。長年の使用で性能が低下した場合は、バッテリーを交換することができます。

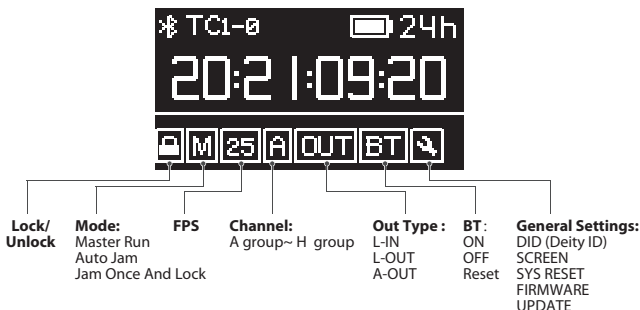


5. Built-In Microphone(内臓マイク)

TC-1は、本体上部に小型の内蔵マイクを搭載しています。デジタル一眼レフカメラやステレオ3.5mmマイク入力のある機器でのリファレンス音声の収録に使用できます。内蔵マイクは、カメラ側のプラグインパワーがONの状態、MICレベルで使用する場合のみ使用可能です。付属の3.5mm TRSケーブルを使用すると、左チャンネルにタイムコード信号、右チャンネルにリファレンス音声記録されます。



6. OLED Display Overview (有機ELディスプレイの概要)



7. Lock/Unlock Setting (ロック/アンロック設定)

メインインターフェイスのロック/アンロックオプションに入り、「LOCK」を選択すると、すぐに画面がロックされます。画面がロックされると、ボタンは機能しなくなります。これは、操作中に設定が変更されるのを防ぐのに役立ちます。AUTO」を選択すると、以前の画面ロック設定に従います。また、MENU/BACKボタンを3回短押しすることで、画面のロックや解除を素早く行うことができます。

8. TC-1 Mode Selection (TC-1 モード選択)

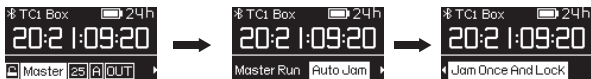
ファンクションコントロールホイールを回転させてモードを選択し、短く押して希望の作業モードを選択します。以下の3つのオプションがあります。

Master Run(マスター ラン): オート ジャムモードまたはジャム ワンス アンド ロック モードで、同じグループ内の他のTC-1にタイムコードをワイヤレスで出力するモードです。また、3.5mmケーブルでジャムシンクすることも可能です。

Auto Jam(オート ジャム): このモードでは、TC-1 は外部タイムコード ソースによってジャム同期されるのを待ちます。システムのデフォルトモードは Auto Jamです。

Jam Once And Lock(ジャム ワンス アンド ロック): このモードでは、TC-1は一度同期した後ロックされます。その後、TC-1はマスターTC-1やSidus AudioTM Appからのコマンドに従わなくなります。

ロックを解除するためには、モードを変更する必要があります。



9. FPS Setting (FPS 設定)

「25」を選択すると、タイムコードのフレームレートを23.98、24、25、29.97、29.97DF、30として設定できます。DFはドロップフレームの略です。システムのデフォルトフレームレートは25です。TC-1が各レコーディングデバイスにタイムコードを供給できるように、事前に適切なフレームレートを設定することをお勧めします。



10. Channel Setting (チャンネル 設定)

手元にモバイル機器がない場合でも、チャンネル設定が同じであれば、ワイヤレスシンク技術によりTC-1ユニット同士を同期させることができます。システムのデフォルトのチャンネルはグループAです。



11. Out Type Setting (アウト タイプ 設定)

TC-1のモードと接続するカメラやオーディオレコーダーに応じて、タイムコードの出力形式を選択する必要があります。

L-IN: ライン レベルのタイムコード入力が必要です。

L-OUT: ラインレベルのタイムコードを出力します。

A-OUT: マイクレベルのタイムコードをDSLR機器に出力し、タイムコードはオーディオ信号として1つのオーディオトラックに記録されます。



12. TC Setting (TC 設定)

TC-1 の動作モードが「Master Run」に設定されている場合、TC 設定には 3 つのオプションがあります。

SYNC: タイムコードを他の機器に供給します。

SET: 00:00:00:00 または任意のカスタム タイムコード開始点から開始するタイムコードを他のデバイスにフィードします。

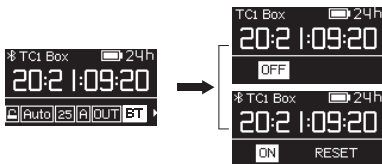
EXT: TC-1は、3.5mmジャックから外部タイムコード・ソースを検出し、ジャム シンクすることができます。



13. BT setting (Bluetooth 設定)

BTを選択すると、Bluetooth機能のオン/オフを切り替えることができます。デフォルトではBluetoothは無効になっています。

RESET と YES を選択して、Bluetooth をリセットします。「SUCCESS」（成功）メッセージは、リセットが完了したことを示します。



14. General Settings (一般的な設定)

(1) 一般設定の「DID」オプションに入り、コントロールホイールを短く押すだけで、新しいデバイス名を設定できます。TC-1に異なる名称を選択することで、Sidus AudioTM アプリのモニタリング画面において異なるTC-1ユニットをより識別しやすくなります。



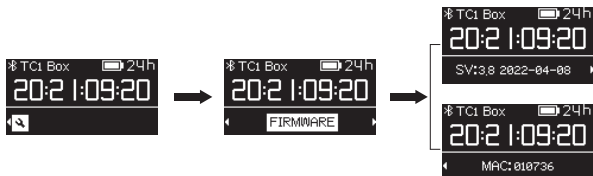
(2) 一般設定メニューの「SCREEN」オプションに入り、ロック画面の時間(システムデフォルト15s)を設定します。4つのオプションがあります。Never、15S、30S、60Sです。初回使用時、TC-1は最後に設定したスクリーンロックで起動します。



(3) メニューから "SYS RESET" を入力すると、システムがリセットされ、初期設定に戻ります。



(4) 「FIRMWARE」 オプションを入力して、TC-1 が実行している FW バージョンを確認します。ファンクション コントロール ホイール を回して、TC-1 の MAC アドレスを表示します。



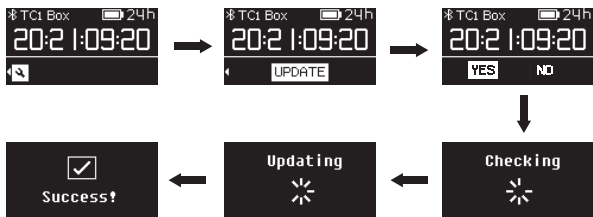
(5) ファームウェア アップデート

U ディスク (exFAT/FAT32 USB フラッシュ ドライブ) を使用してファームウェアを更新できます。当社の Web サイトから最新のアップデートをダウンロードします。U ディスクのルート ディレクトリにファームウェアを配置します。

「USB-C to USB-A ファームウェア アップデート アダプター」を使用して U ディスクを USB-C 入力ポートに接続し、メニューから「UPDATE」オプションを選択し、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

ファームウェアのアップデートが完了すると「SUCCESS」メッセージが表示されます。ファームウェアのバージョンに更新が反映され、[General Settings] メニューの [FIRMWARE] に入って確認することができます。

*また、TC-1 は Sidus Audio™ OTA プロセスによるファームウェアのアップデートにも対応しています。



15. Sidus Audio™ App for IOS & Androidの設定

TC-1の機能を拡張するSidus Audio™ AppをiOS App StoreまたはGoogle Play Storeからダウンロードすることができます。以下のサイトへアクセスしてください。アプリを使ってDeity Timecode Box TC-1 (Kit)をコントロールする方法については、sidus.link/support/helpcenter で詳細をご確認ください。



Get Sidus Audio™ App



sidus.link/support/helpcenter

16. Timecode Synchronization (タイムコード同期)

** TC-1 は、高精度 (48 時間あたり約 1 フレーム未満) のタイムコードを生成する精密発振器を使用しています。撮影全体のフレーム精度を確保するために、すべての録画デバイスに TC-1 からのタイムコードをフィードすることをお勧めします。

(1) ケーブル シンク

付属の3.5mmケーブル、または適切なアダプターケーブルを使用して、TC-1を外部タイムコードにJamすることができます。以下の手順で行ってください。TC-1のモードをAuto JamまたはJam Once And Lockに設定し、出力タイプをL-INに設定します。3.5mmケーブルで接続すると、TC-1はジャムシンク時に自動的に入力されるフレームレートとタイムコードを検出し、引き継ぎます。

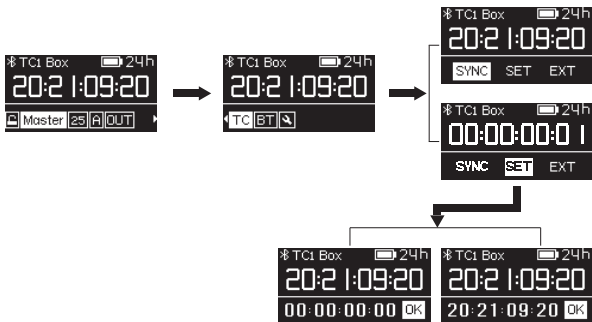


(2) ワイヤレス マスター シンク

手元にモバイル デバイスがない場合は、ワイヤレス マスター シンクを介して TC-1 ユニットの相互に同期できます。

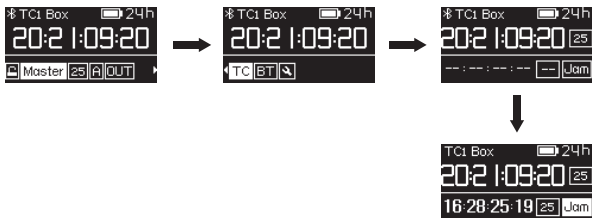
1 台の TC-1 を Master Run モードで起動し、他のすべての TC-1 ユニットの Auto Jam または Jam Once And Lock モードで起動します。すべての TC-1 ユニットの同じチャンネル (たとえば A グループ) に設定します。マスターユニットの TC 設定を入力し、SYNC を選択して、マスター TC-1 が実行しているタイムコードを使用してワイヤレスマスター同期を実行します。すべての TC-1 ユニットの数は数秒以内に同期します。

SET を選択して、00:00:00:00 またはカスタム開始点から開始するタイムコードを同期することもできます。



- * SYNC LED が赤くゆっくりと点滅している場合は、TC-1が同期を待っているか、同期に失敗したことを示します。
- * SYNC LED の素早い点滅は、同期が進行中であることを示します。
- * SYNC LED が緑色に点灯している場合、TC-1がMaster Run modeのままであるか、同期が成功したことを示します。

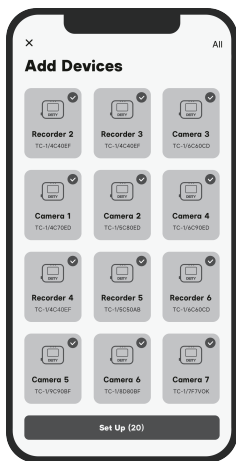
注: Master Run Modeの間、TC-1 は 3.5mm ケーブルを介して外部タイムコードソースまたは他の TC-1 によってジャム同期することもできます。TC-1 モードを Master Run モードに設定し、TC 設定に入り、EXT オプションを選択すると、TC-1 は外部タイムコードとフレームレートを自動的に検出します。ファンクションコントロールホイールを押して Jam を選択し、外部タイムコードソースに同期します。



(3) Wireless Sync via Sidus Audio™ (Sidus Audio™ によるワイヤレス同期)

TC-1 用の Sidus Audio™ アプリを使用すると、多数の TC-1 を Bluetooth 経由で相互にワイヤレスで同期できます。(20 台以上でテスト済み)。Sidus Audio™ を介して、TC-1 の同期、監視、セットアップ、ファームウェアの更新、および基本的なパラメーターの変更を行うことができます。これには、タイムコード、フレームレート、デバイス名、出力タイプ、TOD (時刻) タイムコードなどの設定が含まれます。Sidus Audio™ は Bluetooth 経由で TC-1 と通信します。モバイルデバイスと TC-1 で Bluetooth が有効になっていることを確認します。ワイヤレス同期を実行するには、モバイルデバイスで Sidus Audio™ を開き、すべての TC-1 ユニットの監視リストに追加します。そのリストには、Set ボタンがあります。ワイヤレス同期の前に、DID を使用して個々のデバイス名を設定し、TC-1 ユニットのより適切に識別できるようにすることをお勧めします。

- ・ Set Up(設定) をタップすると、[すべて同期] オプションが表示されたウィンドウがポップアップ表示されます。これにより、すべての TC-1 ユニットが「マスター」TC-1 タイムコードまたはモジュール デバイスから取得した TOD タイムコードに同期されます。
- ・ 各 TC-1 の SYNC(同期) をタップして、この「マスター」TC-1 個体に同期します。



Sidus Audio™の詳細なユーザーマニュアルはこちらからダウンロードできます。

<https://m.sidus.link/support/sidusAudio/index>.

仕様

Timecode Box TC-1	
Timecode (タイムコード)	SMPTE
Wireless Type (ワイヤレス方式)	2.4G RF & Bluetooth
Display Type (ディスプレイ タイプ)	0.96" 有機ELディスプレイ
Battery Type (バッテリー タイプ)	充電式リチウムイオンバッテリー
Battery Capacity (バッテリー 容量)	950 mAh
Battery Charger (バッテリー 充電)	USB-C ケーブル
Built-in Microphone Polar Pattern	Omni-directional (無指向性)
TC-1 Net Weight (正味重量)	41 g (ショックマウントは含まず)
TC-1 Dimensions (寸法)	53.4 mm * 40 mm * 21.8 mm (ショックマウントは含まず)
Temperature Range (温度範囲)	-20 °C to + 45 °C

ヒント:マニュアルのイラストは、あくまでも参考のための図です。
製品の新しいバージョンが継続的に開発されているため、製品と製品取扱説明書の図の間に相違がある場合、製品本体を参照してください。



Timecode box TC-1の詳細な製品マニュアルは、www.deitymic.com に掲載されています。